夕刊
新京日日新聞
發行所 新京日日新聞社
電話 二三〇〇・三三五二
發行人 十河忠男 編輯人 松本啓二郎 印刷人 谷

満洲へ進出の内鮮人 八萬六千に達す
事變以來二星霜各地に激增

満洲事變勃發以來二星霜満洲全土は今や健實なる發達の一路を辿りつつあるがこの間全満各地の内地人朝鮮人の人口は躍進的増加の數字を示してゐるがその中主なるものは新京及びその附近に於て内鮮人合せて約一萬八十人の増加、奉天、撫順を合せて約二萬ハルビンに於て約一萬何れも物凄い激増ぶりで之に從つて家屋の拂底のナンセンスやルンペン群の横行は毎日各地の新聞を賑はしてゐる、六月二十日新京の關東憲兵司令部調査による全満主要二十ケ部市の人口増加數は次の如く

【總計】八萬六千の増加である(△印は減少數、その他は増加數)

	内地人	朝鮮人
奉天	八、三五九	四、〇一三
撫順	四、三三二	三、一一四
營口	一三〇	三九
蘇家屯	二、七一四	一三〇
安東	八〇	一、八七九
通化	△二九一	一、〇六六
桓仁		△一〇、八八七
山城鎮	八九	一、五六三
新京附屬地	八、三五三	九五三
新京城内	二、四〇三	一、四九六
寛城子	三、〇一〇	二、三六八
吉林	一、三〇二	二、二二〇
敦化	五三八	二、八九五
鄭家屯	一六	三三九
通遼	三九	二六四
ハルビン	二、一八五	七、六〇四
樺川	三〇七	六、四〇四
佳木斯	五四六	三四三
一面坡	一四三	一七四
チチハル	二、一八八	三八八
ハイラル	三九一	三五
満洲里	一七五	二一
洮南	四〇〇	三一一
錦州	一、四一〇	二七四
赤峰	一〇三	四四
承徳	一〇八六	一九
朝陽	一六六	八七
局子街	九二三	七、〇〇一
龍井村	三一三	五、一六四
ウンスラーズ	九八	六、〇七八
合計	四一、六三一	四三、六九八
總計		八六、〇三九

朝鮮緬羊増殖 計畫案具体化
廣く門戸を開放して 緬羊國策に邁進

緬羊國策の第一着手として明年より新に實施せんとする朝鮮緬羊増殖に對する總督府の計畫案は大体纏り

【目下】更に實行上の問題として細部に亘る研究を續けてゐるが、右に依れば咸南北、平南北、江原、黄海の方道を奨勵區域として積極的に飼育する方針であつて、先づ初年度に於て總督府が國立種羊場を設立して將來優秀なる原種の供給をなひ、緬羊の増産普及は中間機關たる事業主体に對し最初の數年間助成金を交附して既定計畫の遂行を期する方針である、而して飼育方針は牧場中心主義を採らず、農家の副業として、各種の經濟を利用經濟的に育成するを主眼としてゐるが、この點に於ても農村振興の一助ともなり一擧兩得の妙案である、本計畫による中間事業主体は差當り東拓であるが、當局の意向は必ずしも東拓に限定するものではなく、その計畫の範圍内で廣く門戸を開放し、本事業の遂行に適合せる事業主体に對しては之を迎へる

【用意】もある趣であり、尚又地域も北鮮に限らず全鮮何れの地に於ても自由に事業を營せしめる筈である

現大統領に反對
キューバ大罷市

【ハバナ「キユーバ」七日發國通】過去四ケ年に亘り流血の私闘を續じて來た現大統領マチヤド政府と反對派の抗爭は去る六月大統領の憲法改革に關する妥協的聲明により解決を見るかに豫想されたが、マチヤド大統領に對する民衆の不滿は依然去らず、遂にキユーバ全島に亘る大罷市の勃發を見るに至り經濟機構も麻痺狀態に陷り政局は極度に惡化し警官隊と市民の衝突を惹起し戒嚴令も遂に布かれた、キユーバ政界の領袖は七日米國大使ウエルス氏と會見し時局拾收に就いて懇談したが會見後各派の領袖もマチヤド大統領の辭職は最早や避け難いといふに意見が一致した旨言明した

清源縣下にも 廿一個の鐵道愛護村
瀋海線の安全期待さる

【奉天八日發國通】嚢に復縣々下村民自治に依る鐵道愛護村が出現し好評を博したが今回鐵路總局管下にある清源縣下廿一ケ村よりなる鐵路愛護村が出來たこれによつて昨年來匪賊による被害の甚大であつた瀋海鐵路の安全が期せられる譯である

藤本中佐 熱河視察

軍司令部第四課藤本中佐は來滿中の參謀本部付吉野大尉並びに日獨最初の交換武官たるオツトー中佐と共に熱河視察の爲、約一週間の豫定を以て本日午後四時卅分發列車で南行した

關東防空 大演習開始

【東京八日發國通】關東防空大演習は九日午前八時決戰の火蓋は切つて落される　天皇陛下は畏くもこの演習に重きをおかせられ、侍從武官町尻大佐を統監部たる士官學校に御差遣、林統監以下演習員一同に優渥なる御沙汰を賜ゐ閑院參謀長宮、同若宮、澄宮、竹田宮、北白川宮、各殿下には司令部に御臺臨に御成の御見學遊ばさるる旨仰せ出された

満洲に於ける建築に就て(四)

關東軍司令部 陸軍技師 原田廣

室内はがらんとして仕切りは全く兩側に巾約六尺の部屋があり上等なものは温突床となつて居り中には板張のところもあります、之れが寢る所であつて中央の廊下は土間で(上等なものは煉瓦を敷いて居りますが)室を煖める設備としては形ばかりのペーチカ若くはお粗末なストーブで而も全体にあれ果てて煉瓦造とは名ばかりで雨露を凌ぐに過ぎない程度のものであります

×

便所、炊事場、風呂場の如きは使用に堪えない不潔極まるもので日本人の到底我慢出來るものではありません之等のものを兎も角人の住める程度に補修し殊に寒さを防ぐ爲には窓や入口を二重に、天井を張りペーチカを築き直し便所炊事場、風呂場の如きは粗末乍らも新しくバラツク建で設備を幾分なりとも緩和したのであります、斯樣な工事は嚴寒時でも實施を要するので基礎を設けず木造の防寒建築を實施して居ります

二、永久建築

永久兵營建築を昭和七年度から着手して居りますが七年度約五百三十萬圓、八年度二千八十萬圓でありまして從來私共が満州で建てました樣な兵營を建築するものとすれば建築費は五割も余計に掛かるのでありますが、何しろ國家財政難の折柄極度に切り詰めまして而も相當の効果を上げ樣と思つて吾々軍の建築に從事する者一同は非常な苦心を拂つて居るのであります

×

今其内容の大体を申上げますと凡ての設備は差當り必要止むを得ざるものに限定しまして利用出來る建物は一棟でも見逃さないで使用し、新築する建物の面積は我慢の出來る最小限度に止め、構造と形式は[illegible]の美さかは一切之を避け防寒に重點を置き質素で丈夫で衞生上具合の良い樣に造つて居ります

壁は防寒の關係から厩や倉庫は木造にして居りますが其他は一切煉瓦造でありまして厚さは南満方面は一尺から一尺五寸北満は約二尺とし屋根は鐵板葺でありますが天井は漆喰を塗つた上更に土を厚さ三寸から五寸位敷込みます、床は二重張り窓や出入口は凡て扉を二重としまして屋外から寒い風の入つて來ない事に努めて居ります、煖房設備は大部分ペーチカを造り病院は蒸氣式と致して居ります照明は極く田舍で僅かな兵隊しか居ない所はランプで我慢しますが大低の所は電燈をつけ電燈のない所には新しく電燈設備を新して電燈をつける事にして居ります

水は水道のない處では深井戸を堀つて簡單な水道を造り衞生に注意して炊事場や食料品倉庫や便所の入口、窓には凡て蠅除け網戸を張つて居ります、入浴場は勿論、軍人を慰める集會所や酒保は内地と同じ樣に造つて居ります、又匪賊の襲撃に備ふる爲めには兵營の四隅にコンクリートか煉瓦で防禦や射擊の出來る樣なものを設け周圍土壘の所々に射擊の出來る場所を造つて居ります

以上の樣に寒い満洲でも防寒と煖房は勿論衞生上決して御心配はいりません、然し將來經費之れを許す場合は更に具合の良いものを造りたいと熱望致して居ります

ハルビン駐屯隊 來る十日軍旗祭舉行

【ハルビン八日發國通】本年二月よりハルビン市民より感謝の的となつてゐる〇〇歩兵第〇〇隊では來る十日午前十一時より第二十九回軍旗拜受記念祭を催す事となつた　尚ほハルビンに於て軍旗祭が行はれるのは今回が初めてである

日銀調査 七月中の中外物價指數

【東京八日發國通】日銀調査七月中の中外物價指數次の如し、(括弧内は六月)

東京	一四八	(一四二、八)
ロンドン	九九、六	(九八、三)
ニューヨーク	一〇三、五	(九五、七)

六月中の指數に比し何れも昂騰だが就中ニューヨークの暴騰はその間政策的にインフレと物價水準狂奔の結果で、米國の金輸禁止前即ち二月に比し四割一分の暴騰である

日銀週報

【東京八日發國通】日銀週報

發行兌換券	一、一三九、一三〇	四五、〇六九
保障内譯		
公積	三〇四、七〇四	
政府證券	三一、〇〇〇	
證券	九七、九三五	
手形	三三二、八四四	

珠玉を碎く(八十二)

吉井勇 (高根秀浩畫)

霧なき朝(八)

妙子の呼びにいつた醫者は、それから間もなく來て呉れた。病氣は過度の心勞と、甚だしい衰弱のために、腦貧血を起したのだといふことが解つたので、それに對する手當をして歸つていつた。

「なあに別に心配することはありませんよ。しかし體が大分衰弱してゐるから、もう少し榮養を攝るやうにしなければいけませんね」

醫者は、敏に、諭くやうな調子でさういつて注意をした。醫者が親切にいつて呉れた注意ではあつたが、純子にはその言葉が、何か胸を刺すやうに思へた。事實この數日といふものは、殆ど一文なしといつてもいゝ位な有樣だつたので、榮養になるやうなものを、莊太の口に入れることが出來なかつたのだ。

莊太は暫くするとだんだん意識を回復して來た。もう譫言などをいはずに、時々目をぽつかりと開いて、ぼんやり天井の方を見詰めたりしてゐた。と、暫くするとそこに妙子のゐるのに氣が付いて、何となく心苦しさうな顏付をしてゐたが、やがて妙子の方を向いていつた。

「あゝ、妙子さん。もう大丈夫ですから歸つて下さい、いろいろ失禮なことをいつたり御心配をかけたりして濟みませんでした」

が、妙子はさういはれると、一層離れないやうな氣がした。病に惱んでゐる兄と、貧に苦しんでゐる妹とを、このまゝこのきたない二階に見棄てゝ歸ることは、何だか無慙のやうに思はれてならなかつた。

「いゝえ、あたしいゝんですの、別に何にも用がある譯ぢやあないんですから、純子さんのお手傳ひをしますわ」

妙子はさういつてぢつと莊太の目を見返すやうに見詰めた。と、莊太はその目をおそれるやうに目を外らして、

「いゝえ、それぢやあ濟みませんからどうぞ歸つて下さい」

と病人らしい我儘さでいふのだつた。

純子も兄が病氣になつて以來、ひどく神經質になつてゐるのを知つてゐるので、

「本當に妙子さんいゝんですわ、もうすつかり落付いた樣ですし、もうそんなに心配なことはないと思ひますから……」

とむしろ歸るのを望むやうな調子で言つた。

妙子は純子の目を見ると、その心持が解つたやうに頷いて、

「それぢやああたしお暇しますわ、どうぞお大事に……」

といつて立ち上がつた。そして、さつき紙入から取り出したまゝ机に押込んであつた紙幣を、そつと机の上の「主婦の友」の下に置くと、急いで逃げるやうに梯子段を降りていつた。

莊太は妙子を送つて純子が出て行くと、むつくり床の上に起き上がつて、ぢつと梯子段の方を見送つてゐたが、やがて蒼ざめたやうな寂しさが、病に窶れた顏の上に浮かんで來た。そして二三度瞬きをしたかと思ふと、喰ひしばつた唇からは、悲しさうに呻くやうな聲が洩れて、そのまゝどたり床の上に仰向きに倒れると、布團を頭からすつぽりと被つてしまつた。

純子が二階に上つて來た時、布團の下からは絲の聲が途切れ途切れに聞えてゐた。

「兄さん…何うなすつたの……」

さういつて純子が布團を捲くらうとしても、莊太は泣きながら顏を噛み付くやうにして、何うしても布團を離さなかつた。

「停戰協定の履行に支那の誠意を認む」
軍の長城線以南復歸に際し 陸軍省堂々と聲明

【東京八日發國通】八月七日關東軍長城線の復歸に關し陸軍省では八日左の如く聲明を發した

關東軍の長城線以南に進出せる目的は累次の聲明により明かなり、而して停戰協定の成立に當り軍は支那側にして誠意之を履行するに於ては、自主的に長城の線に軍を復歸すべきを言明せり爾來關東軍は北支當事者の誠意の實證を認め且つ非武裝地區の治安亦概ね維持せられ住民悉くその堵に安んぜんとする狀況を見るに至りしを以て逐次軍を長城線に復歸せしめ、八月七日その復歸を完了せり

抑々信を重んじ義に從ひ出所進退その宜しきを制し、行動の公明なるは、皇軍の面目にして亦以て他に何等の野心を包藏し居らざるを知るに足らん、而して此の間北支當事者が雜なる內政事情の中に於て、南北百粁、東西二百餘粁に亘る廣大なる戰區の接收及び停戰協定の履行に拂ひたる誠意と努力とは日支提携、東洋永遠の平和に對し、その第一階段をふみ出したるものと云ふべく、吾人は支那官民が百尺竿頭更に一步を進め、兩國間に橫る不快なる感情を一掃し、互に相携へて自主的に東亞の和平確立に精進し、依つて以て世界全人類の平和的福祉に貢獻せんことを切望して已まざるものなり、關東軍は今將にその戟を長城の線に收めたりと雖も苟も滿洲國の獨立を脅かし、その治安を亂し、或は本協定の精神に悖るが如きものあるに於てはその何れよりすると又如何なる時期方法手段によりたるを問はず、何等假借する所無く斷乎之を排擊するの用意と決心とを有するものなり

陸相閣議で 滿洲國の治安財政狀況說明

【東京八日發電通】荒木陸相は八日閣議に於て滿洲國の治安關係その他につき大要左の如き說明をなした

△治安關係

滿洲國には現在匪賊が尙七萬人から跋扈してゐる狀態である、最も多いのは、吉林省內で興安省方面には殆んどゐない、しかし匪賊の數が七萬といふのは可成り少い方といふべきでその肅淸近きものと考へられる

△滿洲國の行政機關

行政機關は[illegible]うたもので又參議府を置き、民政、外交、軍政、財政、交通、司法各部には聯絡統制を緊密にして建國の大業に精進してゐる

△財政狀態

財政狀態は極めて順調に[illegible]つゝあり、建國第一年の豫算は一億一千三百萬圓であつたが第二年目の豫算は一億四千九百萬圓となり、約三千六百萬圓の增加である、而して前年度には一千二百萬圓公債を募集することになつてゐたが實際は豫備金又は稅收入の增加等で大體收支が償ふことゝなつたので、公債發行は見合せてゐる狀態で非常に健實な步調を辿つてゐる

時間の都合で右說明を中止し一般狀況に關し、說明を爲す筈で[illegible]たが更に次回の閣議席上他の[illegible]ある

遠藤總務長官 二十二日神戶發赴任

【東京發】遠藤滿洲國總務長官は來る十八日午後一時東京驛發途中京都に滯在伊勢桃山に參拜後二十二日正午神戶發うらる丸にて赴任する筈

新京驛についた日本新聞協會員一同

帽子をとつてゐるのが光永理事長

鏡泊學園生 十三日發目的地へ 湖附近の開墾を胸に畫き

吉林省鏡泊湖附近に雄々しくも開墾の大事業を志した鏡泊學園生徒百九十一名は山田梯一氏に引率され九日午前六時四十分着京、十二日迄滯在し十三日目的の吉林に向ふ筈である

河上博士に判決言渡し後 藤井裁判長語る

【東京八日發國通】河上博士は八日裁判長より懲役五年の判決を言ひ渡された、博士は豫て期してゐたものか顏色も變へず退廷したが、判決言渡後藤井裁判長は左の如く語つた

五年の懲役は少し酷だと思はれるが若しこれが轉向したからとて刑を輕くする事が出來る譯のものではない然し人間として見る時は實に痛ましい氣の毒だと思ふ勿論同人は控訴するだらうが保釋の事を未だ考へない

大連民政署長後任 御影池辰雄氏

【東京八日發國通】

關東廳事務官 御影池辰雄

陞敍高等官二等 補大連民政署長

兼任關東廳專賣局長(三等) 永井四郞

依願免本官並に兼官

唐聚五等再び蠢動の兆あり 日滿軍警擊滅を期す

【奉天八日發國通】本部を綏中に有する鮮人匪賊國民府革命軍は客年唐聚五と提携し、反日反滿行爲に出たが今回李春潤と通じ、更に鳳凰縣下にある鄧鐵梅と合體し來る二十九日の日韓併合記念日を期し蠢動の模樣があるので鳳凰城その他各地軍憲は一擧に彼等匪團を擊滅せんと手具脛引いてその活動を待ち構へてゐる

第六次會合に關し ソ聯側聲明書を出す
大橋、カヅロフスキー間に折衝

【東京八日發國通】北鐵讓渡會議第六回會合は去る四日開かれたが八日は亦午後二時から外務次官々邸で大橋、カヅロフスキー兩代表間に折衝が行はれ、席上四日の會合に關してソ聯側は次の如き聲明書を出した

ソヴエート代表部は本交涉を最も迅速圓滑に進捗せしめんと努めてその成功を保證せんとする誠意と願望とを明示した、特にその言ひ値が極めて妥當にして充分の根據を有するにも拘らず之を五千萬圓ルーブルだけ低下する用意ある旨を表明した

ソヴエート代表部は直らに北滿鐵道賣却に關聯する諸問題の眞劍なる審議に入ることを提議す、又滿洲代表部が現有條約を鄭重遵守し相互の利益と本會議の大なる意義を考慮してソヴエート代表部同樣の誠意を以て會議の成功を達成せんとする用意を表明されんことを期待す

第七次會商 ルーブル換算問題に觸れず

【東京八日發國通】昨日ソ滿兩代表の會談では、ルーブル換算問題に觸れず、評價問題に終始した模樣である

日本新聞協會けふ大會第二日
總裁宮令旨を賜ふ

日本新聞記者協會第二十一回大會第二日は九日午後二時より新京高等女學校で

=開會= 總裁東久邇宮殿下の令旨を奉讀これに對し光永理事長奉答之辭を述べ記念撮影をなして後いよく大會に移り光永理事長の開會の挨拶に次いで時實秋穗氏(京日)座長席につき、菱刈大使(代理)鄭滿洲國々務總理、謝外交部總長、金特別市長の祝辭あり次で齋藤首相以下內外各地よりの祝電の披露あり右終つて

=議事= に入り宣言決議の協議に入つた

令旨

世界多端國步多艱ノ秋ニ際シ日本新聞協會會員胥謀リ滿洲國ノ首都新京ニ於テ協會二十一回大會ヲ開催スルコトハ其ノ意義極メテ重大ニシテ予ノ欣悅惜ク能ハザル所ナリ顧ルニ滿洲事變以來我ガ帝國ノ國論期セズシテ一ニ歸シ朝野一心ト爲リ官民同體ト爲リ東方平和ノ爲ニ百難ヲ排シテ滿洲建國ノ大業ヲ翊成シ其ノ獨立ヲ承認シ其ノ結果國際聯盟ノ脫退ト爲リ大詔渙發我ガ帝國ノ決意ノ確乎トシテ奪フベカラザルモノアルコトヲ宇內列國ニ知ラシメタルハ職トシテ會員諸子ガ皇道ノ大義ニ立脚シテ 議ヲ主張シ克ク言論機關ヲ指導シタル效果ニ繫ラズンバアラズ今ヤ世界ノ潮流轉々急ニシテ我ガ帝國ノ任務愈々重キヲ加フ此時ニ當リ眞ニ能ク東方平和ノ使命ヲ體シ更始維新ノ經綸ヲ實現シ六合ヲ該ネ八紘ヲ掩フノ鴻謨ヲ恢暢シテ帝國々是ノ基ク所ヲ指示シ歐米列國ヲシテ滿洲國承認ノ已ムベカラザルコトヲ認識セシムルハ一ニ繫リテ綸論指導ノ精神如何ニ在リト謂ハザルヲ得ズ予ハ會員諸子ガ內外多艱ノ時局ニ對シ其ノ任務ノ一層重且ツ大ナルモノアルヲ自覺シ勇往邁進崇尙ニシテ然カモ偉大ナル使命ト天職トヲ完ウセンコトヲ翹望シテ止マザルナリ

昭和八年八月九日

日本新聞協會總裁大勳位 稔彥王

奉答之辭

日本新聞協會第二十一回大會を滿洲國新京に於て開くに方り畏くも總裁宮殿下の令旨を忝ふす會員等感激恐懼に堪えず

惟ふに方今國際間の事多岐多難殊に帝國は其の最も難局に位置し國民秒時も偸安苟且を許さゞるものあり曩に大詔を渙發あらせられ非常時日本

りと雖も列國未だ國家として之を認めず依つて彼等をして滿洲國に對する蒙を啓かしめ速かに之を承認するに至らしむるの責又實に我等會員の使命に存す

日支事變勃發してより我等會員の使命一層重大を加へたり而して會員凡て皇道の大義に立脚し外に向つては克く國民思想の趨く處を指導し會員の使命に悖ることなかりしこと一に 總裁宮殿下御指導の然らしむる處にして會員の感銘措く能はざるところなり更に本日令旨を下し賜りて我等會員の勇往邁進すべきところを訓へ給ふ曾長伯爵清浦奎吾老軀にして今異境に來つて親しく令旨を拜載するを得ず洵に恐惶恐懼に堪えず理事長光永星郞謹んで代りて之を拜受し我等會員慈々として之を服膺し以て敢て悖らざらんことを誓ひ奉る

昭和八年八月九日

日本新聞協會

理事長 光永星郞

ノータイ姿で新聞列車着く けふ協會大會第二日

日本新聞協會第二十一回大會列席の光永理事長以下百二十余名の協會員並に大連奉天等の新聞關係者は

=豫定= の通り九日午前六時臨時列車で着京した、之よりさき驛頭は新京日本記者協會員を始め軍部、滿洲國、滿鐵等の歡迎委員ならびに有志の官民多數出迎へ非常な賑かさであつた、一同下車すると歡迎委員長新京特別市長金璧東氏の歡迎の辭があり、之に對し一行を代表し光永理事長謝辭を述べ終つて新京記者協會員擔當の宿舍迄が案內し各自動車で旅館に入つた、午後二時新京高等女學校講堂で開かる〻大會第二日の

=時刻= まで一般會員は自由行動、役員は割當により各所を訪問挨拶を述べるなど却々多忙を極めてゐた(寫眞は新京驛についた一行)

一行の宿割

▲ヤマトホテル(七名) 電通光永、同安藤、協會兒玉、電通中山、同田畑、福日原田、同阿部、

▲旭ホテル(二〇名) 博生室佐藤、報知新聞赤澤、北海タイムス耳、同中塊、北鮮日報岡本、防長新聞弘中、同弘中、豐州新報長野、東京每夕新聞三宅、豐滿通信谷口、朝鮮新聞小坂、釜山日報芥川、同山野、同影山、信濃時事新聞遠山、同遠山、下野新聞川村、同橋本、九州新聞高木、旭川新聞田中

▲西村旅館(一四名) 臺南新報宮本、高田新聞今田、臺灣日日新聞大澤、臺灣日日永井、同入具、名古屋新聞大宮、京城日報時實、同李、下野日日新江、新愛知岡田、同小原、新發田新聞柳澤、滿洲日報日笠、門司新聞梅月、

▲扶桑旅館(一四名) 關門日日末光、關門日日末光、同加藤、大正日日米田、滿鐵今門、神戶日日岡田、信濃日々中山、同荻原、信濃日日井手、同淸水、靜岡新報江河、靜岡民友大石、同江崎、同小川、

▲吉田屋旅館(十一名) 新瀉每日古川、室蘭每日鈴木、上毛新聞篠原、上毛新聞樋口、同大澤、鹿兒島新聞齋藤、樺太日日加藤、同高久、昭和日日古川、秋田魁皆川、昭和日日古川

▲大丸新館(十二名) 電通山崎、同小野寺、同石崎、大阪電通春日、鹿兒島朝日青木、同鯵坂、樺太時事古川、海南新聞社香川、同國井、山梨日日野口、岐阜新聞西尾、同永井

▲長春旅館(八名) 新潟新聞坂口、北鮮日日三上、南信新聞林、福島民報中目、同方和口、上毛新聞淸水、鹿兒島新聞渡邊、電通吉田、

▲常盤旅館(十五名) 日本商通山本、同平手、北陸タイムス有川、同大田、傲蟻社金子、東奥日報武田、同工藤、中國民報大島、大阪電報通信小田、大連新聞寶性、奉天每日新聞杉山、福島民友新聞氏家、同牟谷、九州日々新聞神原、三重日日杉浦

▲梅屋(一八名) 旭川新聞前田、同松下、朝鮮日報金、南信日日三澤、同名取、同宮律、伊勢新聞松本、東京日日佐藤、德島每日多田、東亞日報宋、同李、朝鮮商工日日齋藤、朝鮮經濟日報小野、大阪中外商業佐藤、鴨江日報小川、江差新聞北林、同北林、同岸田

南支島嶼先占問題 先占反證あがる 外務當局より嚴重抗議せん

【東京九日發國通】佛國の南支島嶼先占宣言に對し我外務當局では

一、各島嶼に於ける寄港上陸の自由

一、我國船舶寄港の際に於ける便宜供與

一、同島嶼に於ける邦人關係の燐礦採掘權及財產權の確認

等の留保をして佛國政府の宣言を承認するやに見えたるも其後日本人の占有が既に大正七年完了せられたるの反證、同八嶼が南洋方面に對する軍略上重要なる位置に在ること等に關して漸く重要性を認め佛國政府に[illegible]すべき[illegible]起草に關して頗る愼重なる態度を執るに至つた、即ち同島に對する邦人の占有が佛國の占有に先だつて完了せられたるものなることが立證される以上本件は國際公法の原則に照して解決すべきであり、日本政府は佛國政府の領土主權宣言に對し重大なる抗議を提起せざるを得ないとの方針の如くである

溥執政訪問 光永理事長等

日本新聞協會光永理事長以下各選事代表者一行十餘名は衣を改め溥執政を始め日滿要人を公式訪問すべく午前十時大和ホテルを出で外交部田中庶務課長の案內で執政府、國務院、軍司令部、駐滿海軍部、大使館、新京警備司令部、關東廳、市公署、滿鐵地方事務所、各新聞社を訪問、挨拶を述べ十一時過ぎ歸館した

榮轉三氏 送別宴賑ふ

橋本憲兵司令官、栗原總領事、小山憲兵隊長送別會は八日午後新京ヤマトホテル納涼園で開催官民有志四十余名列席先づ主人側を代表して高山新京署長三氏送別の辭を述べ之に對し來賓總代橋本少將の謝辭があり開宴宴酣なる頃、佐々木副領事の音頭で來賓三氏の萬歲を三唱、寬いで歡談非常な盛宴であつた

その日く

□ 停戰協定の約を履むによつて兵を引く、履むによつて!

□ けふ新京の街學徒と新聞記者で埋まる正しき凝視の結論を待つ

□ 靑年學徒の雄叫び、純眞なるが故に緊張に價す

□ ダンサーとの思ふこと叶はず自殺を企つ、暑い話

人事往來

▲小田民造氏(日本電通社員)新聞協會大會出席に際し挨拶のため本社來訪

▲吉田秀雄氏(同)同

▲光永星郞氏初め日本新聞協會一行百二十四名九日午前六時着京

▲谷口少將(〇〇第〇〇隊長)午前八時三十分吉林へ

▲橋本憲兵隊司令官午前九時四平街へ

▲孫輔領(吉林省實業廳長)午前九時發南行

經濟欄

新京市況

特產	現物	出來高
大豆	[illegible]	二車
高粱	[illegible]	二車

大豆先物	寄	引	出來高
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]

錢鈔	
鈔票對金票	[illegible]
現大洋對金票	[illegible]
國幣對金票	[illegible]
大洋對鈔票	[illegible]

各地市場

▲大阪株式

	寄	引
大株新	[illegible]	[illegible]
大紡新	[illegible]	[illegible]
同鐘新	[illegible]	[illegible]

▲同短期

	寄	引
大新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

▲大阪期米

	寄	引
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲大阪棉花

	寄	引
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲大阪三品

	寄	引
當限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

出來高	[illegible]
安値	[illegible]
高値	[illegible]
引止	[illegible]

▲大連金鈔票

	寄	引
現物	[illegible]	[illegible]
近付	[illegible]	[illegible]
寄付	[illegible]	[illegible]
步値	[illegible]	[illegible]

▲上海標金

昨止	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
本寄	[illegible]
步値	[illegible]

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	[illegible]
同遠限	[illegible]
紐育銀塊	[illegible]
孟買銀塊	[illegible]
米英爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]
スチール株	[illegible]
アナゴンダ株	[illegible]

▲棉花

●米棉

現物	[illegible]
十月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]
三月限	[illegible]
五月限	[illegible]
七月限	[illegible]

けふ新京の街は

學徒と新聞記者のルツボ

人、人、人……今年に入つて首都新京は觀察團の洪水だ、中でも日滿親善、大アジア文明復興の意氣と元氣に燃えて來京して產業建設學徒研究團は實に千二百有餘名の多數を擁して大會に、見學にいま新京の人氣を背負つてゐる折も折日本新聞協會員一行九十餘名が今九日朝大擧來京するあり、これらインテリ軍の殺到で市內は沸き返へるやうな賑ひを見せてゐる、どこの宿屋も超滿員、各學校までが學徒達の臨時宿舍に當てられる始末で、馬車ニーヤも今は一年中での書入れ時とばかり稼ぐこと稼ぐ　かうして新興滿洲國の首都大新京は日滿人の共存共榮によつて永へに榮へてゆく……

胸は高鳴る！

兩國若人達が感激の堅き握手

聲涙共に下る劇的シーン　日滿青年大會

潑溂たる意氣と元氣に滿ち〳〵た日滿兩國學徒が心と心を結ぶ堅き〳〵握手を交はす劇的シーン…日滿青年大會はけふ九日午前八時から西公園陸上競技グラウンドにおいて盛大に開催された、會場舞台兩側には日滿兩國旗はへんぽんと飜り、青空高く煙火は打揚げられる、折柄祝賀の飛行機幾度か低空を旋回して氣勢を添へ若き學徒の胸はいやが上にも高鳴る感激の場面がつゞくのである

定刻午前八時を前に腕に赤、黃、綠、紫色とりどりの腕章をつけた千二百名の日本學生の一大集團、滿洲產業建設學徒研究團の一行が田園長を先頭に各班長に率ゐられて入場する、これに「前後」して滿洲國側からは滿洲國の建設に建鬪しつつある青年官吏大同學院生徒及び滿人學生ら約六百名が入場、廣き會場も日滿青年の集ひに人の海となる、ついで鄭國務總理を始め、小磯參謀長、謝外交部總長、宇佐美顧問始め金壁東市長、その他日滿朝野の知名の士三百名、前後して入場來賓席につく、やがて定刻八時を過ぐる十分、東大上田四朗君司會の下に會場正面「壇上」高く日本學生代表東大長澤道行君によつて先づ開會の辭が述べられ、次で日の丸と五色の日滿兩國旗が執政府軍樂隊の吹奏裡に掲揚される

天皇陛下　海軍大演習御親裁仰出ださる

【東京九日發國通】天皇陛下には目下太平洋上で舉行中の海軍特別大演習に親しく御統裁の爲來る十六日葉山御用邸を御發輦軍艦比叡に召され洋上に錦旗を進めさせ給ひ二十一日若くは二十二日還幸遊ばさる旨仰出された更に本月二十五日橫濱沖に參加全艦隊集合大觀艦式を行はせらるる旨仰出された

と兩國々歌合唱がある、見れば兩國旗は空高くへんぽんとして翻り厳肅なる光景裡に鄭總務總理靜かに壇上に現はれ力強き口調を以て王道主義を說き日滿兩國の力強き礎しある日、滿、露青年大會の開催を滿洲國の首都に於て見たとこの歡びを述べ、終るや滿洲國青年代表張格君、遠來の客たる滿洲「產業」建設團の十字軍戰士を迎へたことの歡迎の辭あり、これに對し日本學生代表慶大美野最君、日滿兩國青年の提携を基礎とし相協力して東洋永久の平和に貢獻せんことを述べ壇を下る、之に次いで來賓側より關東軍司令官（小磯參謀長代讀）謝外交總長、文教部總長、金市長、荒木地方事務所長、夫々祝辭を述べられ愈々日滿兩國青年代表美野張兩君に依つて文字通り若き手と手の力強い握手が交されたが、この光景こそは全日滿「若人」の心と心を結ぶ不滅の携手をシンボライズせる厳肅なる劇的シインであつた、日滿青年代表の握手の式が終るや田園長の發聲で遠く日本の空へもとどけと日滿兩國の萬歲が三唱され、ここに意義深き日滿青年大會の式を終了せんとせる刹那協和會理事于靜遠氏より緊急動議として白人々種の鐵鎖と重壓を斷つてアジア諸民族の永遠の幸福と繁榮とを持ち來さんとするアジア聯盟結成の巨彈が投ぜられ意見を聽求し、「司會」者より學徒研究團側の北大生小川博三君壇上に進み熱辯を振ひ贊成の意を表し、次で早大生野路武敏君の希望で決議文宣言起草を委員附託となす事を決し、滿場一致を以て委員會に附託され、茲に力強い日滿青年を主體とするアジア青年聯盟は結成された、かくて滿人黃能勤君の閉會の辭があり同九時四十分解散した

大亞細亞の青年聯盟結成

中外に向つて聲明

別項、協和會理事于靜遠氏より緊急動議として提出された大亞細亞青年聯盟結成に關する提案は日本側東北帝大小川博三、早大野路武敏兩君の熱誠あふるる贊成演說あり、滿場異議なく、今後の處置に就ては司會者に一任されたが、いづれ宣言決議を決定のうへ中外に發明するはずであるが、提案の理由は左の通りである

世界人類の和平幸福の確立は亞細亞の復興を前提とし亞細亞の復興は亞細亞民族の大同團結に俟たざる可からず、而してアジア民族の大同團結は實にアジア青年聯盟の結成に始まる可きを確信して、「茲に」大アジア青年聯盟の結成を提案するものなり、克くそれ世界の現狀を達觀し過去を靜觀するに、かのうるはしき國際協調主義は人類の瞞着に終りつつあり、その假面を剝げば現實及び過去の世界はまことに自己的排他的な歐米本位の支配するところにして、之が生々しき實例をかの國際聯盟に於て見よ、吾人はこの歐米本位の重壓の下に打建てられたる國際秩序を打破し大同の旗幟下に起つ眞の正義の秩序を建設せざる可からず、これ吾等亞細亞「青年」が大アジア聯盟を結成せんとする第一の理由なり

又惟ふに淺薄なる歐米文化は眞正の人間性を沒却し世界の凡有る方面を混亂と紛糾にまき込めり、かかる世界の現狀こそ吾等をアジア民族本來の眞精神に立脚し人類匡救の大道に起つべきことを促せり、則ち吾等はアジア民族の覺醒を喚起しアジア人のアジアを實現し新文化を建設せざるべからずこれ生をアジアに享けたる吾等青年が、大アジア青年聯盟を結成せんとする「第二」の理由なり

夫れアジア諸邦の完全なる提携協力により自主共榮の實をあげ、世界の東方に平和の樂土を建設し進んでアジアの興隆を圖り世界再建運動を完成せしむるの道は大アジア民族の大同團結にあり、大アジア團結の氣運は實に純情熱誠なる青年の結束により促進せらるべきなり、これ吾等アジア青年が至誠やみ難く奮然起ちて大アジア青年聯盟を結成せんとする第三の理由なり、惟ふに人類はアジアの大同團結を待望するや既に久し、今や世界の大勢とアジアの現狀は一刻の「猶豫」を許さず、時は將に至れり、親愛なる全アジアの青年、就中盟邦日本の青年學生よ、希くば吾等の眞劍なる提唱に贊せられ協心戮力一體となりて世界再建の聖業に奮起せられんことを

大同二年八月九日　滿洲青年代表　于靜遠

懇談會も盛況　互に美はしい交驩

右大會を終つて引續き協和會主催で潭月池畔の樹蔭の下に各團に分れて日滿青年學徒の懇談會が午前十時より開かれ一同茶菓を共にしてそれ〳〵互に起つて或は新世界の再建を說き大亞細亞主義の結成を叫ぶなど、感激渦卷く美はしき交換が行はれ時の移るのも知らず各學校のエールなども合唱されて極めて盛況の裡に正午ごろ解散した

全世界改造へ　欣快この上もなし

日本國側學生代表　美野最君の答辭

我が滿洲產業建設學徒研究團來滿して以來茲に一ヶ月親しく滿洲の大自然と文化とに接し今や將に豫定の行動を終へて歸國の途に就かんとするに當り茲に日滿青年大會開催せられると共に相見ゆるの機會を作り得たるは啻に日滿兩國永遠の協和提携のみならず又「東洋」永遠の平和のため貢獻する所勘からざるを信じ欣快に堪えず時恰も炎暑の候にも拘はらず日滿兩國の閣下並に各位の御臨席をかたじけのふし又滿洲國青年代表よりは誠意溢るる歡迎の辭を賜り吾等一同感激言ふ所を知らず、惟ふに世界の現狀並に吾等亞細亞民族の使命に關しては亦只今滿洲國青年代表の述べられたる所と全然所見を同じくするものにして既に天の時到り地の利備はり、唯殘る所は人の和にあるを信ずるものなり然るに亞細亞諸民族の大部分は「或は」この歷史的重大使命の自覺を缺き、或は自覺あるも力之に及ばず、或は却つて以夷制夷の術策を弄して自ら亞細亞の崩壞を誘致せんとするの狂態を改めざるの實狀にあり、此の驚く可く、悲しむべき亞細亞の現狀に一大轉換を促し鐵鎖と桎梏と混亂とより全亞細亞の民族を解放し更に之を打つて一丸と爲し以て全世界改造の原動力たり支柱たらしめ得るもの一に自覺ある吾等日滿兩國民就中熱と力とに依り正義の實現に身を挺して邁進せんことを期す、吾等青年の「協同」結束に俟たざる可からず。然も吾等の進まんとする路は波瀾重疊荆棘充滿從て其の任や啻に重且つ大なるのみならず實に無限の困難と障碍とを豫想せざるを得ず、吾々は茲に一切の私を排し愈々率公の志を堅くし以て此の高遠崇高なる使命の遂行の爲全亞細亞民族の幸福のため、世界文化再建のため、渾身の力を傾けて邁進し以て大業恢弘に精進せんことを天地神明に誓ふものなり茲に滿洲產業建設學徒研究團一千二百名の學徒を代表し聊か所信の一端を述べて答辭に代ふ、終りに臨み滿洲國青年の健康と幸福とを祈る

萬難を排し協力邁進せん

滿洲國側青年代表張格君の歡迎辭

茲に滿洲產業建設學徒研究團を迎へ、滿日青年大會を開催するを得たるは兩國親善に貢獻する所極めて大にして我が滿洲國青年の本懷之に過ぐるものなし、開會に當り忝けなくも「滿日」兩國の閣下並に各位の御臨席の下に滿洲國青年を代表して歡迎の辭を呈し平素の所信の一端を開陳するを得るは余の最も欣快とする所なり惟ふに今や世界の文化は各般の方面に亘り矛盾撞着混亂離遂に歸趨する所を知らざらんとす。是全く科學的唯物史觀的近代文化特に歐米文化の辿るべき必然の過程なり、而して今日此の頽勢を既倒に回し世界秩序の確立を期し以て永遠の平和と興隆を招來し得るもの一に道義的精神的なる亞細亞文明の「復興」に俟たざる可からず、滿洲國建設せられて茲に一歲王道の基礎愈々固く庶民其の堵に安んじ今や鬱勃として新なる文化を創造せんとするの機運を孕み「特に光は東方より」の箴言を裏書して世界文化再建の先驅たらんとしつつあり、夫れ歐米の羈絆を脫し眞に亞細亞人の亞細亞を再建し以て其の秩序と和平とを建設するは實に現代亞細亞諸民族に課せられたる世界史的使命にして此の天命遂行の爲には全亞細亞民族は全く「運命」共同體たるべき歷史的民族的、文化的、必然性を確認し斷乎として結束し猛然として起ち以て一切の不正と不義とを排擊すべきなり、而も亞細亞を復興し世界再建の天業を恢弘し以て亞細亞諸民族の翹望に應へ大亞細亞建設の機運を促進し且つ之を實現すべき重責は一に懸つて我等青年の雙肩にあり、今皇國日本一千の學徒皇道的自覺の下に如上の大使命達成の先驅として滿洲產業建設研究の爲來滿せられたる豈偶然ならんや、願くは親愛なる「隣邦」滿洲產業建設學徒研究團諸兄我等滿洲國青年の衷情を諒とせられ互に戮力協心を以て萬難を排し千古不磨の大理想たる天業恢弘に挺進邁進するの大決意を吾等と共に天地神明に誓はれんことを、聊か所信の一端を披瀝し以て歡迎の辭に代ふ

ダンサーとの戀

兩親から割かれた男

カフエーで自殺を企つ

すいてすかれた二人の戀も兩親にさへぎられ遂には女の方から關係を斷つべく話かけたのを悲觀し服毒自殺を企てた事件があつた、……八日午後十一時四十分ごろ市內東一條通カフエートリオ前路上に內地人青年が「虫の」息となつて倒れてゐるを通りかかつた東洋の吉田森一氏が發見し直に同仁病院に收容應急手當の結果一命は取止めた、屆出により新京署から係員急行し取調べると東京市淺草區向柳原町二ノ一長春旅館止宿杉山進一（二八）氏で、午後八時ごろトリオカフエーに行きアザリンをビールに混入し多量に服用し苦悶中を家人が發見し戶外に追出したものであるが同青年が自殺を企てるにいたつた原因は男が本年一月奉天オリンピール全館で帳場をなしてゐる時三笠町一丁月十四番地ノ二ダンサー上野よし子（一八）＝假名＝がダンサー見習として同家に住込中二人は情交關係を結び、人目をさけて甘い戀をさゝやいてゐる內男は上野の兩親に「結婚」を申込だが聞き容れられずその內女は新京に歸りキヤピタルダンサーとして働いてゐる內四月ごろ突然行衛不明となつた搜査をすると二人が開原會館で働いてゐることが判明したがその後二人は大連に行き働いてゐるうち最近新京に二人が歸り女は實家に男は長春旅館に止宿中遂には女からも絕交を申込まれたのを悲觀したものである

西瓜行商をねらう　ケチな追剝ぎ

威嚇射擊で一時は大騷ぎ

八日午後九時十分頃新京總領事館警察署へけたたましい「電話」で只今西門外（執政府新築地）附近へ匪賊三十余名が襲擊して來ましたと清水組から電話があつた、同署では「スワ一大事」と直に全署員の非常召集を行ひ今江主任指揮の下に現場に急行すべく準備をなすとともに嚴密な調査をとげつた處匪賊の襲擊でなく西瓜行商の一滿人が通行中突如藪かげより一名の追剝三名現はれ金品を强奪中を建築工事夜業中の一日本人が發見し所持の「拳銃」で賊に向つて發砲する中滿洲巡警が直に威嚇的發砲をしたことが判明、賊は銃聲を聞くや暗にまぎれ逃走した

馬占山部下鄧文

張家口で暗殺さる

（奉天八日發國通）舊馬占山部下で最近は馮玉祥の部下となり先般の多倫攻擊に參加した鄧文は七月卅日午前二時頃張家口の黃某宅にて暴漢數名の爲暗殺された

上海丸のトランク事件

加害者は支那人の嫌疑濃厚

（神戶八日發國通）トランク詰怪死体事件に關し目下物的證據によつて取調べた所に依ればトランクは上海製に間違なく、衣類の物である點並びにラベルに船室番號がない點より見て犯行は相當計畫的に行はれ死体の腐爛狀態より見るに犯行は二日頃行はれたものと見られ、トランクの積込當時運搬が支那人の手によつて行はれた點より加害者は支那人の嫌疑が濃厚である、尙は上海丸は八日上海に向け神戶を出帆した

北海道の大洪水

（小樽九日發國通）北海道空知郡幌向附近は七日夜來の豪雨に夕張川增水し、八日正午頃に至り遂に昨年の大洪水同樣數千町歩は一大泥海と化した、目下の處田畑の浸水七八尺に及び、減水の模樣なく、沿岸部落民は山地或は高地へと避難しつつあり、又上川郡方面でも六日夜來の豪雨で空知川其他の河川は一丈餘の增水を示し、空知川の堤防は百五十間決潰した爲め富良野市街地千三百戶浸水し田畑も千三百町歩浸水し被害甚大である

京城勝つ

對名古屋戰　6—0

（東京八日發國通）都市對抗野球第四日京城對名古屋六對零で京城勝つ　大連對吹田は大連三、吹田一點、七回表で中止本日更に續行する

東倶辛勝

都市對抗二次戰　12A—11

（東京八日發國通）都市對抗野球第二次戰八日は大阪對東京の對戰、接戰十一回に及び十二A對十一で東京辛くも勝つ

△バツテリー
全大阪　伊藤、水上、岡田
東京　宮武、中村、手塚

△スコアー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
全大阪	2	0	1	4	0	0	0	4	0	0	0	11
東京	0	0	0	6	1	3	1	0	0	0	1	12A

南北大總長　危篤に陷る

（札幌七日發）南北大總長は予ねて尿毒症にて北大病院に入院中であつたが六日朝危篤に陷つた

田中財務司長　嚴父死去

財政部理財司長田中恭氏の嚴父篤雄氏は昨八日正午和歌山縣今福町の自邸で胃痙攣の爲急逝した、享年六十二歲

ラジオ欄

十日（木）
奉天後四、〇〇レコード相場　商業通信社
新京後四、三〇演藝
同後廿、〇〇時事解說
同後五、三〇ニュース

東京後六、〇〇ニュース東京中央放送局編輯
新京後六、二〇語學講座（滿洲語）講師　高井盛逸
同六、四〇（日本語）同　植松金枝
同後七、〇〇ニュース（英語）
同後十、一〇ニュース（露西亞語）
同後十一、二〇ニュース（朝鮮語）
同後七、三〇ニュース氣象概況、放送局編輯及プログラム豫告
同八、〇〇演藝
東京後八、三〇時報
同後八、三一ニュース東京中央放送局編輯

けふの錢相場

鈔票對金票　106.10
現大洋對金票　100.70
鑒幣對金票　103.20
大洋對鈔票　95.00

捕物異聞　艶魔地獄（えんまぢごく）

（舞台上演映畫化）　玉水三郎　（繪）長谷川小信

鈴鹿破り（三）

美人の噂しながら、同心大滝道十郎、手先燕の太吉、下ッ引林蔵の三人は、辨辰の二階へ上つた。

そして酒肴が出ると、道十郎はすぐ又美人の話に戻つた。

「横山町の伊勢治の横町に住む其の剣術師匠、崎山隼人の娘が嫁入つた先は何處か、マア酒の肴に話せよ林蔵」

林蔵は大分酔つてゐる上に、又好物の酒と來てゐるので、手紙めずりしてニコ〳〵。

「姉娘の嫁に行つた先は、後の話としやしてね。妹娘の方から片づけやせうよ。姉が嫁づいてから妹の方が、寺子屋を引受けやした。期々利巧な娘なんだが、どうもやつぱり剣術といふものは爭はれねえふんだ。姉のお菊は十九だから子供をなづかせる手も知つてゐる、お師匠様〳〵と言はれても、寺子屋師匠と受取れる。が、妹はお八重と言つてまだ十七だ。女の子はハイ〳〵と云つて從つてゐるが、男のがきが可けねえ。十七位の娘は馬鹿にしてしまつて、師匠の云ふことを肯かねえさうだ。其處で此頃は寺子屋はやめて、お八重さんはお針子を集めて、針仕事の師匠になつてゐるといふことでさア」

「母親はねえのか」

太吉が横槍を入れた。

「ウム母親は大阪にゐた時分、死んでしまつたさうで、崎山隼人は姉妹の娘を連れて、三人で今の所を店借りしたんだ」

「もう何年になるな。横山町三丁目に酒場を開いてから……」

「聞うと……俺が隣り町に番太をしてゐた時分だから、かれこれ七年前だ」

林蔵に盃をさした同心、大滝道十郎は、

「コレサ、外の話しは何うでも宜い。あの美しい姉娘は、誰の女房になつたのだ」

太吉は、クス〳〵笑つて、

「旦那は勘違をなすてだ……林蔵早く言つて上げなよ」

「それがね、旦那の前だが鈴鹿御娘といふが、あれ程の酒場の娘で女ながらも寺子屋の師匠でもする位だつたら、定めし立派な家へ嫁に行くだらうと思ふと、左にあらずさね」

「フーム何者へ……」

「根岸の植木屋で、三平ッて奴の所へ嫁入つたんで、植木屋だつてお大名様の庭作りもあつて、ピンから切りまであるもの、、其三平てえ奴は唯一本鋏一挺のしがねえ植木屋だといふからをかしいや」

「ホ、ー左様であつたか」

「親父の崎山隼人だつて、あれ程道場が盛つて、多くの門弟衆の中にや、お旗本の若殿と敬はれる人もあるんだ。娘の出世を思はねえで、植木屋の女房にしてしまふたア了簡の判らねえ剣術使ひでさアね」

「フーム、隼人は大分金を蓄へて居るか」

「へイ、七年も手堅くやつてるし娘も寺子屋を二年、其妹がお針の師匠。期々裕福らしく酒場もスッカリ手入れをして、綺麗にしてゐまさア」

「イヤ太吉も林蔵も、詰まらん話で酒がちつとも行けんの……さア飲めよ」

道十郎は女中に銚子の催促して更に肴を注文した後、

「美人の話は打切つて、扨て加賀様の金蔵破りと言ふ、大捕物が目先に出て参つたな、何うぢやな。此方の手で挙げる工夫はないかの」

「旦那が以前阿部様と、田村様へ押入つた時の、手口を知つてゐなさるなら、一つ詳しく言つて聞かせて下せえな。それから考へて手を付けたら巧く挙がらねえものでもありやせん」

道十郎は二人に更に盃を與へながら、

「賊が町人でないといふだけは判つてゐる。田村様の時には火の番の者が、後姿を見たといふが、屋根の上から見えた賊の縮方、腰の一本差、確に武士――相當な浪人と評々は睨んだのだ」

「ヘエー浪人…ァな」

八月十日　舊六月十九日　木曜　戊申　赤口　建　奎宿

- ●一白の人　理想のみ高くして實績の揚らぬ日着實なれ　庚と辛と癸が吉
- ●二黒の人　身心の動搖を防ぎ舊狀維持に勉むるが安全　乙と丁と癸が吉
- ●三碧の人　自重して事に當り徒らに慾のみに馳すべからず　庚と壬と癸が吉
- ●四緑の人　耐忍して定業を守らば福運自ら廻り來る日　辰と巳と庚が吉
- ●五黄の人　近くとも横道に入らば離路にて捗りがたし　甲と丁と壬が吉
- ●六白の人　一時に利を見んとすれば却て損失べし　乙と丙と丁が吉
- ●七赤の人　一旦着手したる事は永續の覺悟にて進む吉　丙と丁と癸が吉
- ●八白の人　勞多くして功少なし人心和同を專一させよ　乙と丁と癸が吉
- ●九紫の人　從來の努力は報ひられて目的の成就する日　丙と戊と丑が吉

新京日日新聞

佛國先占の六島は
ラサ燐礦作業の島と同一
外務省近く態度を表明せん
佛の態度が見もの

(東京九日發國通)佛國政府が先占を宣言せる六島嶼(九島とありしは誤り)の位置や名前は外務省に公報があつたが、ラサ燐礦株式會社作業の島と全く一致し、日本が既に私權を行使して居た事實明白なので外務省では右六島に我公法上の權利が及ぶや否やに就て近日中に明白な態度を表明する筈である、尙先取に就きフランスの發表は日本に對して同諸島に有する處の私法上の權利を尊重するものなりと附言してゐる

南支先占島問題に關する
フランス政府回答

(東京九日發國通)曩に佛國政府が先占を宣言せる南支諸島問題に關する詳細なる事情に就き外務省は駐佛長岡大使に取調方を命じて居たが八日次の如き佛國政府の回答に接した

フランス政府は今回の諸島が無主物と認め居りたるものである

｢且つ｣フランスの諸艦船にして印度支那方面を航行するものは航路上に多大の困難を感じ居りたるを以てフランス側に於ては單に燈火を點じ標識する必要から右工事を行つた、然るに工事中一九三〇年英國政府から問合せありたるを以て右の次第を說明し問答したるにその後英國は勿論其他の諸國から何等の照會に接せずその儘今日に至りたる次第なり、佛政府は右諸島に對し何等軍事的施設を行ひしものでなく同島に對する日本の經濟的利益は充分にこれを｢尊重｣すべき旨を茲に聲明するものである

因にフランスが先占を宣言せる諸島は次の六島である

一、スプラトリー島　本島は一九三〇年四月十三日砲艦マリーシユーズを以て占領せり
二、アンボアン島　本島は本年四月七日より十二日迄の間に報知艦アストロラーブ及アラートの二艦で占領せり
三、イツアバ島
四、グループドージエール島
五、ロアイタ島
六、チーチユ島

先占手續を行ふに決定

(東京九日發國通)佛國の先占を主張する島嶼以外に同島嶼附近には帝國臣民により發見された島が多數あること判明したので外務省としてはこの際特に密接なる關係を有する島嶼に對しては我方に於ても先占の手續きをとるべしとの意見に傾きつつあり關係方面と打合せ中で近く積極的に意志表示を爲さんとする形勢となつた、即ち之等の諸島はウデ島、リルコロン島、ノースデンヂヤア島、ブラフト島、ナンシヤ島、ウエストヨーク島、ナムイツト島等である

北鐵第六次交涉
ソ聯側の不當價格固持で
交涉又復物別れ

(東京九日發國通)北鐵交涉第一回私的會談は八日午後二時より滿洲國側大橋次長以下ソ側カズロフスキー極東部長以下出席讓渡價格を｢中心｣に懇談を續け午後九時迄後七時に亘る討議を行つたが双方自說を固持して讓らず、ソ側は更に政府に請訓したる上來る十二日午後二時より再開することとなつた、

八日の會議では双方價格算定問題を論議し滿洲國側は五千萬圓以上到底支拂ふことは出來ぬと頑强に突張り更にソ側の主張する一ルーブルが金一圓四錢なりとする取扱ひ方は不當であるとてルーブル相場の現實に下落し居る事實を指摘し最後に滿洲國の大橋次長より本問題の如き交涉は結局双方の主觀價値に基きて｢論議｣を進めて居るのであるから今後十年議論を續けたところで到底討論の一致點を見出し得べきものでない、依つて此の際双方で最後案を提出し、右兩案が一致すればよし、然らざるに於ては交涉を打切つてはどうかとの決然たる態度を披瀝した、右に對しソ側は｢ソ側としては右提議には今即座に應じ難い飽迄審議を進めたいと思考する依つて今後更に本國政府の訓令を仰ぐ必要ある故次會を來る十二日に開くこととしそれ迄ソ側に於ても充分考慮する故滿洲國に於ても充分考慮されたし｣と｢要望｣し一切を次會に延し兩國代表の意見依然一致を見ず第一回私的會談を終つた

ソ聯代表部で
交涉經過を聲明發表

(東京九日發國通)ソヴイエート代表部では去る四日の北滿鐵道會議第六回會合に於て發表されたる滿洲國代表丁士源氏の通告に對し八日左の如く聲明した

ソ代表部は本交涉を最も迅速圓滑に進行せしめんと努め其の成功を保障せんとする誠意を明示した特にソ聯側は其評價が極めて妥當にして充分な根據を有するものなるにも拘はらず之を五千萬金ルーブルだけ低下する用意有する旨表明した、ソ代表部は直に北滿鐵道賣却に關聯せる諸問題の眞劍な事務的な審議に入ることを提議する、又ソヴイエート代表部は滿洲國代表部が現存諸條約を尊重遵守し且つ相互の利益並に本會議の大なる意義を考慮して本會議の成功を達成せんとする其の用意を表面されんことを期待する

ソ聯本國に請訓
次回交涉は十二日

(東京九日發國通)北鐵交涉滿洲國側代表大橋次長より本交涉は細目に亘ることは永びくのみで交涉不調に終らせる虞があるからロシア提案の二億金ルーブルは滿洲國の財政情態では考慮不可能だ故に速かに適當なる讓渡價格を決定するが兩國にとり得策であると說かれたのでソヴイエート側も滿洲國の確固たる態度明瞭となり本國政府に今後の方針に就き請訓した模樣で次回會談は十二日午後二時開會するがソヴイエート側が滿洲側の申出價格と妥協する案を出さぬ限り交涉は決裂かとも觀られて居り次回會談は注視されて居る

ルツボは沸る

改正關稅は
果して滿足なりや
當業者の意見を聽く (六)

棉子

滿洲に棉花の栽培をなす事は汎ゆる方面より見て最も重要且つ急要事である、即ち同品は滿洲國人生活の必需品であり、棉花及棉花製產品である綿系、綿布は滿洲國の輸入品中その最たる地位を占めてゐる、而して之を一日も早く自給自足狀態にする事は非常に必要であり、一方日本に於ても棉花の輸入はその輸入貿易中首位を占める國民の必需品でその製品も又日本に於ける輸出品中の最たるもので何れの方面より見るも日本の現狀は棉花栽培に迫られ、自給經濟ブロックの見地より觀察して滿洲に棉花を栽培する事は最重要事である、從來棉糸に對し一割の輸入稅を課稅してゐたのは如何なる意味であるか一般の諒解に苦しむ事で、第一次改正の時當然引下ぐべきものであつた、而してこの免稅の結果棉花栽培が旺盛になれば滿洲國としてもその目的を果す譯で新業者もよくこの大局に立脚しこれに從事すべきであつて國家的見地よりして最も意義あるものといへやう

改良種用の生動物

從來生動物に對しては改良種用のもの、一般愛玩用のもの一或は食用、役服用のもの一率に｢從價｣の一割を課してゐたが農業立國を立前に世界に飛躍せんとする滿洲國は汎ゆる方面に一大改革を斷行し、原產地國として世界に飛躍すべくその第一步として改良種用の生動物に限り免稅となす事に改正されたものである、而して現在滿洲の畜產界を觀望するに、馬にしろ、羊にしろ牛にしろ、其他殆ど總ての生動物に對する改良の餘地は充分に殘され、これを世界のレベルに引上げる事は日滿經濟ブロック建設の上からいつても焦眉の急務とされ、これが將來幾何の年月の間に何の程度の改良が行はれるかは各方面より重大關心を以て見られてゐる、而して｢勿論｣今回の關稅率改正は當然過ぎる程當然で何人と雖も異議を唱へる者はなく何れもこの改正の影響につき非常な期待を掛けてゐる、これに對し新業者としてもよく滿洲國の方針を體すると共に一般の要望を汲み品種の改良に努力し、改正をして無益に終らしめるが如き事は絕對に避くべきである

新任滿洲國氣象臺長
後藤一郎氏着連

(大連九日發國通)今回新京に設立さるる滿洲國氣象臺長に新任する後藤一郎氏(元仁川觀測所長)は九日入港のうすりい丸で着連午後四時の列車で新京に向ふ筈であるが左の如く語つた

私は長らく仁川の氣象臺の方に勤めて居りましたが、六月に滿洲に行つて來ました、滿洲の交通機關として航空機が非常に重要な使命を帶して居るに見ても正確な氣象觀測が重大であるばかりでなく產業開發の方面でも重要な役割を務めると思ひます、設立事務の方を命ぜられましたので出來る丈け努力するつもりです

無任所大臣問題に
陸相も贊成!

(東京九日發國通)鳩山文相は昨九日荒木陸相と會見し無任所問題に對する軍部の意向を聽取したが荒木陸相は

一、軍は飽まで內政には干涉しない
一、軍の教育方針もその如くで政治思想として政黨に基礎を置く立憲政治を排擊はせぬ、唯その政黨運用を誤らざる樣國民の監視を要する、無任所大臣問題には舉國一致の實を舉げる意味で反對はせぬ
一、軍部としては內閣の既定方針を遂行出來る强力な內閣を希望する

と述べ鈴木總裁の無任所大臣入閣賛成の鳩山文相も自信を深めた、軍部の贊成が政友會に如何に影響を與へるかは注目されて居る

天氣と氣溫

けふの天氣西の風晴九日の氣溫最高二十六度九最低十九度五

佛飛行家が
世界記錄を樹立す

(バグダツト八日發國通)佛國飛行家コドス、ロツシ兩氏搭乘のルチ號は五日午前四時四十一分ニユーヨーク發一氣に五千八百九十三哩半を翔破七日午後四時二十五分レバーンの境を越えてシリヤーラヤに着陸、世界無着陸長距離飛行新記錄を樹立した

滿洲建國慶祝
皇軍感謝等を決議
きのふ第二日の新聞協會大會

日本新聞協會第二十一回大會第二日は既報の如く九日午後二時から新京高女で開會令旨を賜り、奉答文を決議左の決議を行ひ講演會に移り午後五時終了自動車で各旅館に歸還休憩の後午後七時ヤマトホテルに於ける協會主催の晩餐會に臨み終つて各自自由行動に入り夜の新京を見學した

滿洲建國に對する慶祝決議

滿洲建國の大業宣布されて未だ一年有半に過ぎずして而も內大に數ひ外紀綱を張る著しきものあり民權確立し三千萬民衆等しく其の惠澤を悅ぶ國際聯盟暗愚にして未だ此國家を認むる能はずと雖も之が存立は儼然たり蓋し之れ執政閣下の仁政と百官有司獻替の功に依らずんばあらず我等隣邦に在りて操觚の業に從ふ只に今日の來るべきを期待し一致協力して之を希へり即ち其勞を謝し併せて益々自愛加餐有終の美を濟さんことを祈りて止まず

皇軍に對する感謝決議

日本新聞協會は本日第二十一回大會を新京に開くに當り茲に日支事變勃發して以來二年に垂んとす此間皇軍の將士克く嚴寒に堪え酷暑と闘ひ力戰奮闘寡兵を以て大敵を破り滿洲國今日の安寧秩序を招徠せり此の如きは畢竟するに　天皇陛下の稜威の然らしむる處なりと雖も亦我將兵各位の忠勇と果敢に因らずんばあらず協會會員今親しく事變の地を訪ひ感激の情一層新なるものあり此に日本新聞協會第二十一回大會を當地に開きするに方り其の微意を以て謹みて感謝の熱情を捧ぐることを決議す

に其の誠意を以て新國家の健全なる發達に慶祝の意を表し將來更に善隣の信誼を篤し共存共榮脣齒輔車の實を擧げんことを決議す

在滿朝鮮人移民救濟に關する決議

一、時局に鑑み特に在滿朝鮮人農業移民に對する救濟施設の擴充徹底を期す

故武藤元帥閣下に對する弔慰決議

滿洲國の建設に盡瘁し極東平和の基礎確立の爲貢獻せられたる故關東軍司令官元帥武藤信義閣下の偉大なる功績に對し日本新聞協會は第二十一回大會を滿洲國國都新京に於て開催するに方り謹んで閣下の英靈に對し感謝と哀悼の意を表す右決議す

昭和八年八月九日　日本新聞協會

舊露國紙幣の數量を調査

四平街商務會に於ては今回奉天市商會より露國舊紙幣の保存數量及損害價格調査に關して照會に接したので目下極力調査を急いで居る

日本新聞賞規程

第一條　日本新聞協會は我國新聞の進步發達に功勞ありたる者に對し本規定の定むる所に依り賞を授く
第二條　前條に依る賞を日本新聞賞と稱す
第三條　日本新聞賞は個人賞にして賞牌又は賞金とす但し賞牌及賞金を併せ授くることを得賞牌の制式及賞金の金額は理事監事會に於て之を定む
第四條　日本新聞賞授賞者の審査は新聞賞委員之を行ふ
第五條　日本新聞協會中種[illegible]員は受賞者の推薦を爲すことを得但し左の推薦には甲評議員二名以上の贊成あることを要す
一　新聞通信の編輯、製作に關し功績ありたる者
一　新聞通信社の營業に關し功績ありたる者
一　印刷機械器具に關し優秀なる發明考案を爲したる者
一　新聞廣告に關し功績ありたる者
一　右の外新聞通信界に著しく功勞ありたる者
第六條　新聞賞委員の任期は一ケ年とし毎年度初の理事監事會の推薦により會長之を選任す但し重任を妨げず新聞賞委員は若干名とし日本新聞協會々員中より推薦す
第七條　新聞賞委員の議決は多數決に依る
第八條　新聞賞委員は審査を以て審査の經過及結果を理事監事會に報告すべきものとす
第九條　理事監事會は新聞賞委員の報告を審議し授賞の議決を行ふべし
第十條　但し授賞の議決には投票總數三分の二以上の贊成あることを要す
第十一條　前條により授賞の議決ありたるときは審査報告書其他授賞に關する一切の事項を評議員會に報告すべし
第十二條　新聞賞委員中より委員長を選擧の委員會の[illegible]名する幹事若干名を置き審査の常務に當らしむ
第十三條　新聞協會々員外より審査員を囑託することを得
第十四條　受賞者の新聞を左の通り定む

四平街から

簡閱點呼

四平街管內の本年度陸軍簡閱點呼は既報の通り七日午前八時から四平街驛常盤小學校にて執行官新京商業學校配屬山內眞喜男少佐によつて執行され午後二時良好なる成績を以て終了したが參加人員總數六十三名未教育五十四名で事故不參一名(疾病屆出であつた)

故武藤元帥葬儀遙拜式擧行

七日日比谷にて執行せる故武藤元帥葬儀の當日四平街市に於ては午後二時から忠魂碑前に於て警察署主催の下に郵便局、地方事務所、憲兵隊、小學校生徒一般市民の多數參列者あり神式によつていと莊嚴に遙拜式を執行した

七月末の輸入組合業績

四平街輸入組合に於ける七月末の業績は左の通りであつた

組合員　四十九名
出資總額　十一萬六千八百九十圓
出資口數　三千三百三十七口
本月中貸付金　[illegible]
本月中回收金　[illegible]
差引貸付殘高　[illegible]

朝鮮人激增

當地に於ける朝鮮人の在住は事變以來甚しい增加を示して居るが、朝鮮人民會調査にかかる六月末現在に於ける人口戶數は左の通りであつた

附屬地內　一三七戶、六六一人
管內奧地　二一三戶、五四八人
計　三五〇戶、[illegible]人

七月中の特產發數量

七月中に於ける四平街驛發送特產數量は百九十九車で前月に比べ百二十三車の減少でその主なる品目數量をあげると

品目	數量	品目	數量
混保大豆	四	屑粟	四
大豆	二	小麥	[illegible]
高粱	五	胡麻	一
蕎麥	一四	粟	一
包	[illegible]		

七月中の圖書館利用狀況

四平街圖書館七月中の閱覽成績を示すと左の如くである

▲閱覽人員　[illegible]
▲閱覽册數　[illegible]

安東だより

故武藤元帥追弔會

(安東發)七日東京日比谷公園に於て故武藤元帥の准國葬が執行されたので當日は安東に於ても安東佛敎團主催のもとに七番通り西本願寺に故武藤元帥の盛德を追慕し冥福を祈るため午前十一時より追弔會を營んだが定刻石岡本部事を始め日滿官民有志、各婦人團在鄉軍人等續々集り儀式は莊嚴に執行され今更の如く故武藤元帥の德望絕大なるを想起せしめるものがあつた

貨物泥棒捕はる

(安東發)滿鐵本線に於ける貨物常習泥棒の逮捕された矢先安東驛貨物倉庫に於ても近來屢々盜難事故起るので當局では嚴戒した上二驛手を監視してこれが搜査に努めてゐたが五日構內に於ける怪しの馬車を發見したので取調べると何と驚くこと積荷を二重にしてゐたことが發覺一旦荷物の積下しが終ると係員の隙を見すまして綿布其の他を其處に押しこんでゐたらしく當局もこの應馬車夫には舌を捲き斯くては今後善良なる馬車夫なきにも影響あり勿論關係各所にも累は及ぶとして申譯ないことゝなるので貨物係では七日午後二時より關係者に集合をもとめこれが徹底的改善乃至は取締方法につき協議した

西師團長閣下　横山大佐殿　金澤中尉殿　の歡送迎會を左の通り開催致し候間御出席相成度候

時日　八月十二日正午
場所　大和ホテル
會費　金參圓也　當日御持參のこと
出缺　十一日正午まで左記へ

福島縣人各位
福島縣人會　電話　二六三九　二六三〇番

亞細亞青年聯盟 力強く誕生す

委員會で宣言綱領を可決 日滿の握手[illegible]し

日滿青年大會に於いて委員會に附託となつたアジア青年聯盟結成に關する件は九日午前十一時より司會者によつて推薦されたる左記委員

△日本側 山際満寿一　牟田敏治（早大）　青柳秀彦（東大）　長澤道行（早大）　熊谷次郎　細川信二

△滿洲國側 于靜遠　張格　呂作新　永江亮二　王子衡

の組織する委員會に於て審議の結果滿場一致を以て左の宣言綱領聲明書を可決、茲に力強い日滿青年の結成するアジア青年聯盟の輝かしい誕生を見た

宣言

全世界の恐慌救濟は行詰れる西歐文化の基礎の上に立てる歐米諸國には全然之を期待する能はず、亞細亞抑壓の上に打建てられし歪曲せられたる平和は許すべからざる不正不義を包含し、亞細亞は歐米の權力强壓下に自覺と希望とを失ひ、亞細亞の活力は分散消磨せんとせり、然れ共正義は亞細亞の更生再起を要求す、數千年來亞細亞の文化は不朽の生命を地下に培へり世界は今や恐慌の嵐に倒るゝことありとも、大同亞細亞の精神は明日の世界を再建すべきなり、之を振作し更張するはたゞ亞細亞民族の大同團結あるのみ、亞細亞に正しき秩序と公正と自主とを恢復せよ、斯くて初めて世界の興隆明して待つべきなり吾等神聖アジアの天地に生を享けたる青年は不朽アジアの精神を体現し、眞人生に立脚して世界再建の天業を遂行すべき使命の自覺に到達し、アジア青年大衆の覺醒を喚起する時回天の大偉業の完成を想ふて胸臆の高鳴るを禁ずる能はず吾等は茲に此の大業を翼成せんがため全アジア青年大衆の動員を決行せんとす、幸に各位の共鳴を得、共に手を携へて天業恢弘に精進するを得ば吾人の本懐之に過ぐるものあらんや

綱領

一、世界正義の確立は大亞細亞の實現を前提とするを確信し、全亞細亞青年の精神的覺醒を喚起す

二、世界の興隆は亞細亞の正しき秩序と公正と自主との恢復にはじまるべきを確信し、亞細亞再組織のために精進健闘す

三、亞細亞の世界的使命の遂行は專ら亞細亞民族の團結にあるを確信し全アジア青年を動員す

四、世界の道義的一元化は邪惡歪曲の折伏により貫徹さるべきを確信し內に外に挺身道に殉ぜんとす

昭和八年
大同二年　八月九日
大亞細亞青年聯盟

大亞細亞青年聯盟 結成聲明書

現時世界は各方面に於て混亂紛糾を極め今や一大轉換の要求に直面せり、全世界に於ける政治、經濟、產業、教育、思想、宗教等一切文化の現狀は如實に之を證明せり

×

比の直面せる歐米文化の行詰りを打開し、之に新なる生命を賦與し以て明日の世界文化を創建し得る原動力は一に亞細亞文明の復活甦生に俟たざるべからず、今や天の時は到り地の利亦備はり茲に亞細亞の天地は文化的黎明の曙光に浴せんとしつゝあり、惟ふに日露の役は亞細亞民族の擡頭の可能とその民族的優秀性の自覺とに點し全亞細亞民族の覺醒と奮起とを促せる一大警鐘にして過ぐる世界大戰は正しく西歐文化及び民族沒落の弔鐘に外ならず

×

而して今次の滿洲事變及び王道滿洲國の創建並に其發達は世界の動向を根本的に轉換せる點に於いて正に世界史上稀にみる劃期的一大事實と稱すべく然もそれは嚴然たる歷史的必然性の上にたてるを看取せざるを得ず、此の歷史的必然性により生れたる民族協和王道樂土の具体的表現たる滿洲國の進展發達は又必然的に亞細亞聯盟結成の先驅をなすものにして且つ同時に其典型たり、然るに世界を擧げて此の大勢を達觀するの明なく依然として舊套を脫却せず白人制覇の方便的機關たる國際聯盟の名に於て日本軍の行動を否定し滿洲國不承認を唱へ以て東洋平和の基礎を覆さんとす、然るに日本の歷史的使命が滿洲國の獨立を擁護し其の健全なる發達を促し以て東洋永遠の平和を確保し世界文化に貢獻するにあるは聯盟脫退の大詔に炳として明らかなる所にして皇國は此の使命遂行のためには國を擧げて焦土と化するも敢て悔いざるの一大決意と準備とを懐抱せり、然も此の使命の遂行は獨り皇國の責任たるのみならず實に皇國と運命協同体たる關係にある全亞細亞諸民族の連帶責任にして皇國の浮沈安危は直に全亞細亞の興亡を意味するものなることを全亞細亞民族は確認し戮力協心以て全亞細亞民族の甦生、復活延いて全世界の秩序創建の大業に邁進する如く共に提携精進せざるべからず、然るに現在亞細亞の實狀は日滿兩國を除いては殆んど無秩序混沌の狀態に在るか若くは鐵鎖[illegible]の下に奴隷的生活を甘受せざるべからざる狀態にあり斯る憐むべき境遇にある諸民族を統制結束して一大運動に邁進せんが爲には、先づ其精神的覺醒を喚起せざるべからず

×

而して此等諸民族の覺醒は理想主義的精神に燃え之を熱き意氣とを以て實現せんとする溌溂たる犧牲的精神と斷乎たる實行力とを有する青年の蹶起に俟たざるべからず

×

今や全世界の行詰り特に其經濟的紛糾混亂は徒らに歐米諸國をして自己保存に狂奔せしめ而して彼等の自己保存の本能は一層對亞細亞民族搾取の欲求を高調せしめ、此欲求滿足の爲め之が最大の障害たる皇國を全世界の力を糾合して破碎せんと畫策至らざるなき有樣にして全亞細亞民族の危機元より大なるはなく全民族の覺醒結束一日も緩ふすべからざる所以實に茲に在り、吾人亞細亞民族の危機は切迫せり、起て全亞細亞青年……亞細亞聯盟の結成は既に歷史的必然なり

×

歷史的必然は即ち命なり、然も吾等の結束の目的は正義の實現にあり正義の實現せらるる所には秩序あり、公正あり自由あり、然も此等は悉く今日の亞細亞に缺如せる所にして之なくして何の幸福ぞ、吾等は正義と天祐とを確信して自らの手により」自らの力を以て全亞細亞の幸福を獲得せざるべからず、而して之を可能ならしむるもの一に吾等全アジア青年の聯盟に外ならず斯くて大アジアの實現の序曲は將に開かれんとす

奮つて起て！全アジアの青年！而して來り青年聯盟に參加せよ

日滿國旗掲揚式と鄭國務總理の挨拶（向つて左は白井秘書官）

聯盟本部は滿洲に設置されん

四五日中に具体策を決定

アジア文化の復興と「アジア人のアジア」をモツトーとし世界正義の達成に邁進すべく結成された亞細亞青年聯盟は既報の宣言、綱領を決定せる後、その本部を暫く滿洲國に置くこととなり、同時に今後の具体的方針及び事業に關しては滿洲國側各委員及び在滿日本側委員（山際、細川兩君）等にて協議の上四五日中に決定し、全アジア諸民族の結成運動に猛進する筈である

日滿青年 膝を交へて歡談

產業建設一千の學徒は日滿青年大會散會後直ちに西公園池畔の森かげに各班に分れてたむろし、滿洲青年と膝を交へて歡談、大同學院學生司會者となり夫々懇談會を開き或は學徒の奥地旅行の實驗談に、滿洲民衆生活の實相に觸れ或は各地視察のいつはらざる深き印象を語つてアジア民族血盟の理想に燃え有志熱辯を振つて十一時半この意義ある座談會を終つた

成果を得て

學徒研究團今朝歸國の途に

旺盛な學的要求と日滿青年の精神的結合を目的に來滿した滿洲產業建設學徒一行は二旬に亘る視察も終へ多大の成果を收めて十日午前六時新京出發奉天經由で歸國の途に就いた

パラマウントが大連に

全滿總支社開設

〔大連九日發國通〕米國パラマウント社員田中亮平氏は大連に滿洲總支社設立の用務を帶び峰吟子で有名な夏子夫人同伴九日入港の「うすりい丸」で着連遼東ホテルに投宿したが氏は語る

從來ハルピンは上海經由で配給して居たが今度支社を設け全滿總て大連から配給することになりましたので支社設立のため參りました列國が滿洲國を承認せぬ等と云つて居るがパラマウント等がきしく商取引を行ふことは實質上承認して居るも同樣で非常に良いことだと思つて居ます

伊國飛行艇隊 アメリカ發

大西洋横斷飛行の途に上る

〔ニユーヨーク（ニウファンドランド）八日發國通〕當地で編隊歸還飛行の機を待ちつゝあつたバルボー將軍の率ゐる伊太利機二十四機は八日午前二時四十五分アゾーレス群島に向け大西洋横斷飛行の途に上つた

拓大優勝

對奉天相撲

〔奉天八日發國通〕拓殖大學對奉天の角力對抗試合は既報の如く八日午後四時より奉天警察署土俵に於て開催されたが拓大は團体試合に於て七對二の好成績で勝を占め引續き行はれた個人試合でも斷然優勢を占め盛會裡に午後七時終了した

滿鐵沿線の匪賊の妨害激減

一時とは比較にならぬ

滿洲事變突發以來本年五月末日迄に滿鐵全線は「匪賊」又は支那正規軍のために驛舍、列車を襲擊し、線路の犬釘を拔取り運輸の妨害敢行、電線を切斷し通信を斷ち線路及び敷設物を破壞し、從事員を拉致、死傷害を加へ實に驚くべき莫大な損害をあたへたが、滿鐵總務部の調査による被害總件數は四百七件、內驛舍襲擊六十一件、列車襲擊三十九件、運轉妨害八十件、電線被害九十九件、線路及敷設物破壞五十件、從事員被害拉致二十三件四十三名、死傷五十五件九十一名、なほ社外線派遣員被害、拉致三件八名、死傷二十二件百十九名である被害の最も激しかつた場所は渾奉線遼陽、大石橋間と安奉線草河口、五龍背間で、襲擊の情況を見ると昭和六年十二月から七年十一月この間が一番多く特に七年八月百九件、九月七十件であつたが以來、「日軍」は將兵とも不眠不休で匪賊を激退したゝめ賊團の出沒は急激に影をひそめるにいたり被害は減少し僅々數件となつた

新京商業校で 洋服の籠拔け詐欺

二日がかりの仕事

八日午前十時ごろ市內日本橋通四十四番地パレー商會パリサクシカへ商業學校の制服正帽を着した一見二十五歳前後の內地人が來て出來合洋服時價五十三圓を仕立直して貰ふべく「約束」し九日午前九時ごろ學生は同樣服裝で同店を訪れ洋服代は學校の方で拂ふから來て呉れと店員桂崇斌を連れ學校に行き教員室で暫て見るから待つて居れと店員を玄關に待たせ奥に入つたがいつ迄待つても出てこないため教員室を尋ねて見たが件の男は發見されず籠拔詐欺にかゝつたと判明直に新京署に屆出た「同署」では奉天附屬地を荒した籠拔け詐欺と同一犯人と睨み搜査中である

ドイツ庭球選手權大會

我三選手準々決勝戰に進む

〔ハンブルグ八日發國通〕當地に開催されるドイツ庭球選手權大會出場の我佐藤、布井、伊藤の三選手は第三回戰に孰れも快勝、三者肩を並べて堂々準々決勝戰に進む事となつた本日の結果左の如し

布井 二—六、六—四、二—六、六—二、六—四 シバ（チエッコ）

佐藤 六—〇、六—三、六—三 イエーニケ（ドイツ）

伊藤 六—一、二—六、六—二、七—五 ヤコブセン（デンマーク）

サーカス團殺傷事件

全くの誤認から發生 被害者には充分の弔慰を約す

〔奉天九日發國通〕富田サーカス團員殺傷事件に關し其後憲兵隊、瀋陽警察、領事館警察、軍法處が共同調査中のところ略々意見一致したので九日午前十時半奉天警備司令部に於て岡良參事は事件の經過に就き左の如く發表した

サーカス團を見學に赴いたのは第一、第二、第三連の兵士で事件の發生は入場料問題に發端し日滿習慣の相違言語の不通より起つたもので兵士中五、六名がサーカス團に留禁されたと思ひ込み負傷せる兵士が運動場にあつた李錫春少尉に右兵士監禁者の奪回を申出たので李少尉は事件を誤認し空中へ向つて三發の威嚇射擊を成したのでサーカス團內外は俄に動搖し兵士は入口に殺倒し李少尉は左側に迂廻し場內に侵入した、此の時觀衆は既に外部に飛び出し場內にはサーカス團關係の日本人のみとなつたが、李少尉は拳銃を亂發して五名を射殺し、二名に重傷を負はしめた、今回の取調べにあたつても李は自分一人の行爲だと主張つてゐる斯くて事件は斷じて計畫的のものでない事に各方面に意見一致した、被害者に對しては充分の弔意を表し、今後の軍規肅正に對しても充分考慮したい

舊塩一掃で

復縣塲灘戸に生色漲る ＝吉黑榷運署發表＝

由來復縣塲は滿洲國に於ける主要產鹽塲にして「全塲」の鹽出九四二四名年產二〇萬石餘に及び一副灘戸二其の鹽質又良好なるも交通不便なる爲販鹽に困難なる一點は經濟的價値を著しく消失し從て販路狭少にして僅かに當署が社會政策的見地より產鹽の一部を購入するに過ぎざる狀態なりき若し此儘に放置せんか復縣塲の生產者は自滅の外無かるべく、之が救濟の爲め積極的特別保護を加ふることは焦眉の急務なるを認め吉黑運署は昨年來之が保護救濟を「企て」再三署員を現地に派遣し實狀を調査探究せしめ、本年五月より舊鹽の搬出一掃に着手し灘戸保護の第一歩とせるが、偶々日本專賣局と工業家用鹽輸出問題を商議し壹當り、一億斤を輸出することに決定し、復縣が該鹽供給地として適當なるを認め先發署員數名を派し日本工業家に實渡し、更に新舊存鹽數量を愼重審査の上現存鹽約四十萬石の購入を斷行し灘戸所有鹽を一掃せり、而して鹽價の決定に當りては生產者を「根據」に之が査定を行ひ從來の如く生產原價にも不足するが如き價格を斥け出來得る限り利潤を與へ以て中央政府王道主義の實現に努めたり、現地にて招集したる二百餘名の灘戸は長年堆積せし存鹽の一掃せらるる現實を見て欣喜雀躍一齊に歡聲を擧げて王道政治を謳歌せり、於之乎彼等は當署員に對し郷村未曾有の盛宴を張り心より感謝の意を表し署員引揚の際の如きは全村總出にて「爆竹」を打鳴らし除伍を組みて歡送する等其歡喜の實狀は眞に筆舌に盡し難きものあり長らくの間舊軍閥の惡政下に呻吟しつつ今は只枯渇を待つの外無かりし復縣塲灘戸は茲に王道の光に浴し始めて蘇生し更生の意氣盛なれば復縣場鹽業の將來は洵に刮目して待つべきもののあるべし

趣味と家庭

綺麗なお化粧と鏡臺の位置
それを無關心なのは一体どうしたわけか

鏡台を置く時には光線が片光線にならないやう、又鏡に光線が直接に當らないやうに据へねばならぬ従つて

『本當』は廣い三方明るい座敷の中央で南に向けて鏡台をすへるのがよいのである、若しそれが出來ぬ時は北の明りを受ける所に置くことです、それは北の光線には動きがないから、化粧をするのにむら寫りがないから非常に都合がよいのである、若し部屋の都合によつて北の光線がうまく取り入れられぬ時は、東の光線でもよいのであるが、何れにしても座る身体の後方から光線が平均してさして來るやうな

『位置』をとらねばならぬものである鏡と人との間はつかず離れず、程よき加減をよしとする、普通は二三尺がよい、それにはぴたりと座つて見て体と顔を眞直にしたまま正しく鏡面に寫る位置でなくてはならぬのである、よく鏡をのぞき込んでお化粧をしてゐる人があるがあれでは反つて出來上つてから面白くないまずいお化粧になるのである

浴場でする湯化粧の仕方

湯で化粧する場合には白粉をつけた後で水刷毛を使ふ必要なく、清潔な湯で白粉の上を洗ふことが出來、又白粉が飛ぶなどの心配も遠慮もなく

『手が』汚れても直ぐふんだんに湯が使へるから、思ふ存分に白粉が用ひられその上湯で十分浮いた白粉が洗はれる、但し注意して置きたいのは普通より、湯化粧の場合は白粉は思ひ切つて白くつけて、そのあとを又思ひ切つて洗ひ流すこと、白粉は十分肌に浸み込む故思ひのままの化粧をすることが出來る、若し出來るなら湯化粧でない時にも濃化粧であつたなら、襟の白粉だけは思ふ

『濃さ』より濃くしておいて頸だけは、洗面器の上に持つて行き水刷毛で十分洗ふやうにすること、白粉がしつくりと肌に馴染むもので自然落ちつきもする、顔の方は化粧直しが何時でも出來るが襟の方は滅多に直せぬもの故、最初からかうした方法をとつておくがよい、湯化粧の時白粉をしてからかける湯は熱いのではいけない、微温湯を多量にかけるのがよいのである

主婦控帳　清涼飲料水の良否

炭酸水、ソーダ水、平野水、サイダー、シトロン等は夏の渇を醫す飲物として何處の家庭でも歡迎されるが、これらはその種類によつて腐敗し易く腐敗すれば濁つたり、沈澱物が出來たりし、又悪い臭を放つたりする、故に壜詰のものは、壜を倒して、明るい場所で透かしてみて、沈澱物の有無を調べることが必要である　またその取扱方としては成る可く暗い冷たい場所に貯へておくこと、さうすれば長く變質することがない、なほ栓を拔く時、壜を斜めに傾けて持つと、水の勢が殺がれて、急激に溢れ出るやうなことがなく、一寸したことだが覺えて居てよいことである

古卓子や籐椅子の若返へり法
簡單に出來ます

春の訪れと共に今まで物置か廊下の上に吊しあげられて顧られなかつた籐椅子だとか、テーブルなどがそろそろ用意されねばなりません、それで少々古いものでも手入次第で立派に若返り、結構用をなすものですから、その簡單な方法を御紹介しませう

籐椅子 は石鹸ですつかり汚れを洗ひおとして、それからお好みの色の普通の染料を溶き霧吹きに入れて椅子にくまなく吹きかけるのです（但しこの場合籐のシンで拵へたものでなければ着色はしません）すつかり染まつたら今度は色止めをしておかなければなりません、それにはラックをアルコールで溶き、これを霧吹きで萬遍に吹きかければ、色止めと艶出しとが一擧に出來ます、テーブルは先づ

石鹸水 でよく汚れや埃を洗つて乾かし下地色付劑のアートステンといふものを刷毛で、まだらにならぬやうに塗ります、それから生乾きの布でかるく拭きとつて後また二三時間乾かし、その上にラックを薄くむらなく塗ります二三日その儘にしておけば見違へる程立派になります、より以上の艶を出すためには最後の仕上げを必要とします、それにはネルの布に種子油をつけて丹念に磨き、更に

砥粉を つけて磨きあげるのです、砥粉が浮きましたらすつかり拭ひ去ります、これで仕上げは終るのですが、序に古テーブルの汚れがひどくて容易に落ちない場合には細い細やすりでその面を輕く磨き、二三回繰返してゐると綺麗になりますから、下地色付劑を塗りラックを塗つておけばよろしい

口内の悪臭
先づ歯を清潔になさい

歯を清潔にすることは美容上の必要條件であるばかりでなく、衛生上重大な關係を有するものであります、外部ばかりでなく内部も一面によく磨いて、食物の殘滓や歯石を殘さないやうにしなければなりません、歯石が堆積するとそれがために恐ろしい歯槽膿漏症を起し、その結果口内に悪臭を放ち、歯は浮き出して食物は噛めず、歯列は亂れて醜悪な顔貌となり、遂には歯が脱け落ちます、口の臭い人は大抵この歯槽膿漏症に罹つてゐるのでありますから、まづ歯科醫について歯々清掃してもらふことが必要であります　輕症ならばこれだけで後は朝夕歯を清掃するだけで治りますが重症になると良い専門醫について×光線の診療を受け根本的治療を加へないと取返しのつかぬことになります、口中の臭い人は常に番茶に食鹽を入れて一日數回含嗽するやうにすれば、臭みも薄らぎ口中の爽快を感じるやうになります

靴をもちよく手入れの仕方

毎日靴をぬいだらばすぐに乾いたタオルまたは古羅紗の布で、泥や塵埃をきれいに拭き落します、翌日までそのままに捨てておくと、塵埃が革の組織内にしみ込んで質を悪くしてしまひます

かうして拭いたらば布にクリームをつけて靴にごく薄く塗り、ブラシで靜かに刷き、そのあとを指先に布を巻きつけて再び萬遍なく拭きよくよく擦り込みます

ブラシをかけただけでは、目が残つたり光澤が曇つたりしてそこに塵埃がたまると、割目が出來る因となります、またクリームをあまり澤山塗るのは、革のため非常に有害です

連載漫畫　二人上戸

トウゾク「オミソレシマシタ、ドウゾカンベンシテクダサイ」
ゲラ「アハヽヽヽ、トウゾク「フ」コソウダナア」

トウゾク「コウサンシマス、イワヤヘオコシクダサイ」
ゲラ「アハヽヽヽ、ソレデハイツテミヤウ」

トウゾク「ココガイワヤデス」
カン「オニノスミカノヤウダナ」
ゲラ「アハヽヽ、オモシロイナア」
ベソ「コンヤハ ココデネヤウ」

トウゾク「ヘダカヘ サムイデセウ、コレヲ キテクダサイ」
カン「ヘテナ、ミタコトアルキモノダゾ」

玩具の選び方

……與へてよいものと悪いもの……玩具を選ぶにはまづ實際に與へて目的に適するもの精神の發達を助くるもの、身体を害しないもの、運動に適するもの、堅牢で安いもの、色や形や模様を注意して兒童の趣味に基くもの、眞を失はないもの、さうしたことに注意をして與へなければなりませんが、玩具はすべて子供自身が自分の力で持ち扱はれるものがよろしいのです、そして又玩具によつて智、情、意などを發達させるやうなものがよろしいのであります、與へてよくないものはブリキガラスなどで作つた破損し易いもの、賭博に類したもの、飾つたまま眺めたりするやうなもの、自分で動いて遊ぶことのできないもの、また奢侈贅澤なものなどは子供によい結果を與へません、また變化して遊ぶものでもこはして遊ぶものはよくありません、同じこはしても、また組立てられるやうなものゝ方がよろしいのであります

海外だより

□新聞紙の永久保存法　紐育市の醫師ヨセフ、ブロードマン博士は新聞紙永久保存法として、二度ニス溶液に浸して置きさへすれば不滅のものだと發表した

□煙草の吸ひさし保存　巻煙草の吸ひさし保存ケースが米國喫煙家仲間に大流行、火の付いてゐるのをケースの中にそのまゝ入れると火は吸つた所までで自然と消えると云ふ煙草吸ひのケチくさい儉約心

□二哩走る玩具自動車　米國ロスアンゼルスでは、直徑二吋位のゴム線七本を撚つて その撚りの戻る力 を利用して走らす玩具自動車が市中を走つてゐる、これでも二哩位は平氣で走るさうだ

□フランスの新型自轉車　フランスでは從來の自轉車の型体が舊式とあつて ハンドルを後方に備へ付けた前輪の小型なのが流行り出したが、前輪は後輪の約半分大の珍奇なものである、重量の輕少な所からスピードも出ると

□象の給油サービス　フランスの樞要都市には自動車用ガソリン給油所に何か目立つ標が欲しいとあつて案を練つてゐたが、ガソリンステーションに實物大の象の立体を置いて前足にホースを付けて自動給油をすることとなつた

□照準付の弓大流行　最近米國婦人間に保健上の弓術が流行つてゐるが、日本のとは異つて照準付のものである

變幻黒船往來

禁轉載上映及上演

寺島柾史 作
布施長春 畫

第百二十四回

人間爭奪(二)

同僚の武七郎が、沖の黒船へ赴いたきり歸らぬので、左京は、頻りに案じ出した。

——それみたことか。おれを連れていかぬからだ。

ある不吉な場面が、まざ〱と描かれた。ことに、したがつていつたのが、笑浦ごとき腑抜武士なので、一層氣をもんだ。するうち夜になつて、待あぐんでゐた傳馬船が、ひよつこり戻つてきた。そのうちの一人、笑浦の衣類を着ておど〱してゐる青剃り藤太をみてカッとなつた。

『お、おぬしは、誰ぢや』

ふざけたまねするなッ!……といつてゐる顔だ。

『へい』

藤太は、氣をのまれて、眼を瞬くした。

『へい……ではわからぬ。磯貝氏をいづれへやつた?』

『……』

『けふの談判役だ』

『軍艦へ上つたきり……』

『なに? 上つたきりだ……と吐かしたな。そ、その衣服の主は、どうした?』

『わつちの、服と取替へて、うまく乘込みましたが……』

『なに!』

『たぶん、典膳の野郎にさとられて、ひでえめにあつてるでせう』

左京は、いきなり藤太の胸倉を取つた。

『怪しい奴だ。船へ乘れ!』

ぐい〱と、乘りすてたばかりの船へ押あげた。

『ど、どうなさるンです……』

『フランス軍艦へ引返すのだ』

左京も諸共に傳馬船へ乘つてしまつた。

『冗、冗談でせう。いまさら、わつちアあの船へ戻りやしませんよ』

『何もいふことはない。素直に案内しろ』

『そ、それに、せつかく、幾月振りで土を踏まうと樂んでゐたところを……』

陸地を見返りながら、藤太はうらめしさうに、なき言をならべる。

『ぜいたくをいふな』

おさへつけておいて、さらに他の足輕たちに向つて、

『おまへたちも、みな船へ乘れ。沖の黒船へ引返すのだ』

『……』

徒士足輕たちは、澁々傳馬船へ乘り移つた。

『ですけど、旦那』

藤太はまだ陸に未練はあつた。

『なンだ』

『黒船へ戻るなアいゝけど、いのちが幾つあつても足りませんぜ』

『默れ!』

『いや、旦那の腕をけなすのぢやアありません。ただ、あの黒船の典膳といふ奴ア、まつたく、その人鬼なンで……』

『人鬼?』

『へい、ことによつたら、その談判役も笑浦の旦那も、船底へ押込められて、いまごろア……』

『なに!』

『わつちらを、追ひ返したときの典膳の面つたら、まつたく、その惡鬼羅刹の形相でしたよ』

『典膳のために殺されたと、おまへはみたのだな。そ、それにちがひはあるまい。……ようし、いまこそおれの腕をふるふときだ。フランス軍艦の紅毛人を相手に、斬つて斬つて斬りまくるぞ!』

左京は、意氣軒昂として沖の[illegible]方を睨みつけた。